

平成30年度能勢町一般会計予算可決

環境教育常任委員会報告

委員長 長尾 義信

3月9日、12日、13日に本委員会に付託されました「平成30年度能勢町一般会計予算」のうち、環境創造部、教育委員会の予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は次のとおりです。

問 能勢の郷、東郷観光案内所について

答 能勢の郷については、除草等の維持管理や危険個所の整備に加え、遊歩道ルートにあたる郷土館跡地周辺へのベンチ設置等指定管理者制度導入に先駆け取り組む。東郷観光案内所は、チラシ等による情報発信や観光ボランティアガイドの会との連携により有効に活用する。

問 土地改良区への補助事業について

答 離農を考える農家が自らの農地が耕作放棄地となる前に改良区が仲介、新たな耕作希望者を紹介する農地流動化事業へ補助する。新規就農者には、経営の担保性の確保等大阪府の普及員と連携するなど行政としてもサポートに取り組む。

問 町道等の維持管理や改修整備について

答 地元区長をはじめ住民からの情報提供に加え、職員のパトロールにより、修繕や改修整備の必要か所を把握している。今年度予算化する町道赤馬片山線については、グリーンベルトの設置等、総延長1.3kmの間、幅員5mを確保する整備を行う。

問 学力向上支援事業について

答 アフタースクールⅡのICT活用として、週2回情報研修室にてパソコン、スタディーアプリによる自習等に活用し、習熟度に応じた学習を可能としている。

問 社会体育の振興について

答 B & G海洋センターは、指定管理者制度導入後利用者は増加している。温水シャワーの設置等利用者へのサービス向上の必要性は認識するものの、財政面の課題もあり財団の助成制度を活用するなど採択基準の課題はあるが検討する。近畿高校駅伝大会は、多くのボランティア関係者に協力いただき3年目を迎える。駅伝大会を契機に継続して大きなスポーツ大会に取り組むべきとの提案については、体育連盟等をはじめとする協力関係機関の意向やボランティアへの負担増等にも十分配慮する必要もあり冷静に判断したい。

